URAWA NAKA ROTARY CLUB　2020.10.08　第1425例会週報

Rotary

相原　章会長　　尾崎　康幹事

第2770地区　第１グループ

浦和中ロータリークラブ

2020-2021 クラブターゲット

「発見、創造、魅力あふれるクラブに！」

ー組織を創る 仲間を創る 明日を創るー

ロータリーは
機会の扉を開く

今日の例会

10月15日（木）第1426例会
例会時間：19：00点鐘
例会場所：さいたま商工会議所会館２階第一ホール
卓話者：米山記念奨学生　タンヂエ・チレラ・シャール君
テーマ　：『コロナ禍の今、経験してる 現在の心境』

次回の例会

10月22日（木）第1427回例会
例会時間：19：00点鐘
例会場所：さいたま商工会議所会館２階第一ホール
卓話者：会員卓話　　石関　健会員・市川浩正会員
テーマ：『ロータリーを続けている理由、その魅力②』

会長挨拶

会長　相原　章

皆さんこんばんわ。10月第2例会にご出席いただきありがとうございます。本日は、チャーターメンバーである小嶋敏夫会員、小島昇会員のお二人による会員卓話です。ロータリーを続けている理由、その魅力について語っていただきます。よろしくお願い申し上げます。

さて、いよいよ秋です。温泉の季節到来です。温泉はもちろんですが、紅葉、良いですね。水上から山奥に入っていくと宝川温泉があります。この温泉は有名ですからご存知の方もいらっしゃるかと思います。ここの露天風呂はとても広く、4つの露天風呂がありますが、一番大きい風呂は畳200畳もある大きな露天風呂です。が、今日は温泉よりもこのそばにある紅葉の名所「照葉峡」をご紹介します。秘境の地の趣のある渓谷、照葉峡は関東の奥入瀬といわれている峡谷で５KMほどの距離に１１の滝がつらなっています。ろくに駐車場もないようなところですが、超穴場のスポットですのでご紹介させていただきました。

この紅葉というのは、よく人生に例えられます。人生も枯れ際、散り際が最も美しいと。美しいだけならいいのですが、具合が悪くならないように、いつまでも元気でいたいものです。今週の月曜日、地区のゴルフコンペに行きましたところ、朝のクラブハウスでは4人そろっていたのに、ティーグランドではなぜか3人に減っていたということがありました。そんなことにならないように、普段から健康には十分ご留意いただきたいと思います。ゴルフをやらなかった分、今日はさらにパワーアップしてお話しいただけると、まあこう言えば誰のことかはおわかりになると思います。どうぞご自愛ください。
それでは、本日もよろしくお願い申し上げます。

□リモート出席者

伊田賢一 会員
キム　ヒジュ さん（米山学友）

幹事報告

幹事　尾崎　康

・職業奉仕部門講演会（夜話会）
（小宮・梶間・辻村・市川会員）
10月30日(金) 17時開演(パレスホテル大宮)
・青少年奉仕部門セミナー開催　（辻村・尾崎）
第1部 16時～　第2部 18時～
・10月20日(火)日本時間21:00～（スリウォンRCズーム例会）
相原会長、小宮会員による卓話

委員会報告

小谷野英一研修リーダー
ロータリーの友10月号の記事を別紙により紹介を行う。

IM実行委員会　　市川浩正副実行委員長
IMテーマ コロナに負けるな！ロータリーの新しい機会の扉を開こう！

日時　　2021年2月12日（金）16時～
場所　　ロイヤルパインズホテル浦和
　　又は埼玉会館小ホール
来賓者　　清水さいたま市長
登録料　　￥10,000

奉仕プロジェクト委員会　　辻村浩司委員長
本日、例会終了後奉仕プロジェクト委員会を開催致しますので、委員の方々ご協力宜しくお願い致します。

次回案内をする三島プログラム委員長

司会の小峰会員

例会の様子

「編集後記」　いよいよ今年のプログラムのメインイベント「会員卓話」そのトップバッターをTKが務めさせて頂いた。久し振りのレクチャーテーブルはいささか緊張した。会長の意向に沿えたかどうかいささか心配だが？これより期待したい。　　（T・K）

■『ロータリーを続けている理由その魅力①』　小嶋　敏夫 会員

どうもこのプログラムは通年とうしてやられるみたいで私がその先頭打者ということで大変責任重大であります。続けてやる方はどうぞ私の事を反面教師と思って聞いていただけたらと思います。その際には必ず原稿をお願い致します。これは週報担当として強くお願いします。

ロータリーを続けている理由は、会社の事を考えるのは左の脳、ロータリーの事を考えるのは右の脳、両方は互いに連携しあっていて会社が忙しくなればなるほどすなわち左の脳が忙しくなればなるほど右の脳が活性化しないとバランスが取れない。ですから会社が忙しいからロータリーに来れないというのはおかしいと思うのです。逆もそうです。忙しい中時間をやり繰りしてするのが仕事でも遊びでも楽しいと思うんです。ロータリーをやっていると普段会社では経験出来ないことがいい悪いは別にしていっぱいあります。今年担当させて頂いてる週報作り、国内外のロータリーとの交流及び事業、米山、財団といった目に見える形での奉仕活動、ロータリーに入っていなければ体験出来なかった事が多くあります。但しこうしたプログラムを完全に理解してやっているわけではありません。受け止め方だと思うんです。

昔、地区のロータリー財団委員会に出向した事がありました。私がお仕えした財団の委員長は八潮ロータリーの種家さんという方で結構多額の寄付をなさっていました。私は感心してえらいですねと申し上げたら種家さんはそうじゃない寄付はロータリーのためだけにしてるわけではない。この一年経営している会社も自分の身も無事でいられた感謝のしるしだとおしゃっていました。要はそれぞれの考え方だと思うんです。この前大宮シチーの恵川が卓話に見えられました。その時強調なさっていたのがロータリーの退会の原因はロータリーを知らない、勉強していないとの事でした。全くそのとうりだと思うんです。そのとうりだと思うんですが私などは学生の頃だって勉強嫌いでましてやロータリーに入ってまでも勉強したくないと思っています。しかし、やはりロータリーを知らなければ面白くないと思うんです。英一先生や小宮君のように真面目に勉強しなければいけないと思うんですが長くいると、古代ギリシアの詭弁家の弓矢の話しの様に瞬間、瞬間で反応出来る知恵は付いてくるものです。やはりこの前の柴田さんの話の様に長くいる事が大切だと言うことです。もう一つロータリーの魅力にこれは随分と井原さんに言われた事ですがアポなしで数十人の人と逢えるということです。最近はコロナの影響で集まりという事が無いのですが普段友達5人10人集めることはとてもエネルギーを消耗する事です。それが例会場に来さえすれば普通に逢える、普通に話せるこれは結構すごい事かもしれません。ここまでロータリーの魅力，やめない理由と題して、るる書いてきましたが実は最大の理由は他にあります。それはロータリーにい続ける最大のモチベーションは借りを返さなければならないと思っている事です。結構この思いは会長経験者に多いのではないでしょうか。年度をしょって立つ事は大変です。皆さんの助けがどうしても必要です。助けられたという思いが会長ほど強いのではないかと思います。それが証拠に会長経験者は殆ど退会してないです。それは委員会レベルでもあると思います。特にプログラム委員会は大変だと思うんです。私も2回程やりましたのでその大変さは理解しているつもりです。ですから今回のこの企画三島委員長に言われてしょうがないと思った次第です。ただ今回のような企画以前にも有ったような気がします。その時も同じような話をした気がします。ここでようやく今回の企画の狙いが見えてきました。ここでロータリーの魅力、やめない理由を話すのはやめない宣言を自らしているわけで、究極の退会防止になっている事にようやく気がつきました。

小島　昇 会員

公認会計士を目指した理由（父が公認会計士だったから）

祖父が50歳くらいで病死したため、農場経営を親戚の人にゆだねて父は群馬県で学校を出る。その後小樽高商に進学卒業後に勤務した会社が戦争中に静岡県の伊豆に疎開、終戦後そこで結婚し、私が生まれ、勤務していた会社が倒産。その頃は、ほとんどの人が飢えで苦しみ、まじめな判事が違法な闇物資を断ってついに飢え死にしてしまったというような世の中にもかかわらず、税務署は納税者の申告による賦課課税のため、正直に所得を言おうものならその何倍もの所得があると思われて多額な税金を取られることが横行していた。そこで、正直に生きる人が得をするような世の中にしたいと思い、ずっと経理畑にいたこともあり、経理の世界での最高の資格である公認会計士として、正しく決算書を作り、税務署にも銀行にもその正しい決算書を提出することを指導したいと考えた。正しい決算書を作ればご自分の会社の状況が正確にわかり、正確な経営判断ができることにより、業績は伸びる。そのような指導をしていった。今でもその伝統を守っているつもり。

ロータリーに入った理由　高校まで浦和だったが父の勧めもあって小樽商大に進学、しかし、折からの大学紛争の真っただ中で授業はあまりなく、自分の人生を考えるときこのようなことを学んでも仕方がないと思い退学して仕事をするようになった。若気の至りということですね。　ところが、世の中に出てみると数字の世界の重要さがわかりようになり、父には内緒で受験勉強をして29歳の時に合格。父の事務所で実務を学びました。しかし、ずっと浦和を離れていたことで地元の友人がほとんどいないことに気づき、これからの人生を浦和で過ごすために地元に溶け込みたい、友人を作りたいとの思いで青年会議所に37歳で入会、40で卒業後井上彰さんの勧めで、今ならチャーターメンバーになれるとの一言に騙されて入会。

やめなかった理由　①紹介者の義理。というより、やめるときは井上さんに辞める理由を説明しなければならない。それが面倒　②せっかくチャーターメンバーになったのにやめるのはもったいない。　③やめる時には翌年度の役割を断らなければならないが、すでに引き受けてしまっている。引き受けたのに放り出すことはできない。　④地域の人たちとの交流が目的なので、変な形でやめるたくない。　そんなことで今があります。　いつまで続けられるかわかりませんが、嫌われなければ続けられる限り続けたい。

好きな言葉　「誠実明朗」「変えられないのは他人と過去、変えられるのは自分と未来」「　承認欲求」

会長：相原　章　　会長エレクト・幹事：尾崎　康　　クラブ管理運営・プログラム委員長：三島　泉
親睦委員長：市川浩正　　会員研修委員長：辻村浩司　　研修リーダー：小谷野英一　　公共イメージ向上委員長：小嶋敏夫

出席報告　10 月8日（木）第1425回例会

会員総数（免除）	39（4）名	本日の出席率	80.00 ％
出席算定	28/35	メイクアップ	3
本日の出席	25		

例会日：毎週木曜日　19:00～20:00
例会場：さいたま商工会議所会館２階　第１ホール
事務局：さいたま市浦和区高砂3-17-15
さいたま商工会議所会館７階
TEL:048(838)7740　FAX:048(838)7741
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://urawa-naka-rc.org